

## グローバル開発情報学分野

皆様のご協力のおかげで、2年目の活動を無事終えることができました。現在のメンバーは、児玉淳一特任教授、筑波大学の北原格客員教授、エクシオグループの松尾啓太客員准教授、事務補助員のスチュアート江利子さんの4名のスタッフと、博士課程4名（中国1名、マラウイ1名、社会人2名）、修士課程4名、4年生3名の11名の学生です。

地盤・岩盤工学、情報工学、推進工学をそれぞれ専門とする児玉先生、北原先生、松尾先生の3人の専門知識を融合して、推進工法の完全自動化を目指した研究を展開しています。具体的には、画像処理技術による推進トンネルの3次元形状の評価手法の開発と、弧状推進工法における推力の予測手法の開発、AIを活用した推進工法の監視システムの開発です。その他の研究として、石炭の地下ガス化によるブルー水素の増進回収技術の開発や鉱山におけるルーム&ピラの設計の最適化手法の開発など、資源開発や岩盤工学の発展にも継続して取り組んでいます。

昨年度は4名の学生が卒業しました。中国からの留学生は無事に博士号を取得し、研究者になるべく母国で就職活動を始めました。3名の修士修了生の就職先は、エクシオグループ、北海道電力、ロジネットジャパンです。一方、この4月から3名の4年生と1名の博士課程の学生（社会人）が加わりました。夏季は実験棟の横でジンパをし、冬季は研究室で鍋パーティをするなど、コンパも積極的に行っています。皆様の飛び込み参加も大歓迎ですので、大学へお越しの際は是非お立ちより下さい。児玉先生の居室は変わらずA棟6FのA609室です。学生の居室は資源工学研究棟の6FのS602室です。研究室のホームページ (<https://gdi.eng.hokudai.ac.jp/>) も随時更新中です。「北大」+「GDI」で検索するとヒットしますので、お時間のあるときに是非ご覧下さい。

